

聞 ・ 聞 ・ 聞

発行責任者 浄土真宗本願寺派 正善寺 住職 酒井光義 令和元年5月27日
〒802-0045 北九州市小倉北区神岳二丁目10番31号 電話 093 (541) 2409 番

今まで知らなかった祖父の一面

『今だから伝えたい別れからの出発』
広島青年僧侶春秋会

世の中にはさまざまな「別れ」が存在するが、私にとっての、「別れ」とは「人の死」である。それは誰でも経験することではあるが、しかし、一つとして同じ別れは存在しないし、また、その別れは、あまりに残された人の人生に大きく影響するものであると感じるからである。つまり、私の中での別れは「死」が占める割合がとて大きく、そして、意味のあるものである。私は、高校一年生の時に祖父との別れを経験した。しかも、その別れは突然やってきて、そして、あまりにも理不尽な瞬間であった。しかし、その祖父の死の以降、私は以前の生活では考えられなかった、見えない人の思いについて触れることができた。それは、おそらく祖父が生きていたら、そのような体験はすることができなかつたと思う。その上、日常において私たちはあまりにも、人の心に対して無関心であることを痛感させられたし、そして、人の思いを汲み取る大切さを、私はその祖父の死まで理解していなかつたように思うのである。私の祖父にとって、私は二人しかいない孫のうちの初孫である。だから祖父はことのほか私を可愛がった。しかし、年が経つにつれて、祖父と私の会う機会はとて少なくなっていた。そして、時折、祖父が夕食と一緒に食べようと誘ってくれた時などに、顔をあわす程度であった。そんな時、事故は起こった。その後、私はいままで知らなかつた祖父の一面を、皮肉にも祖父の死後知ることになる。はじめに、道楽でやっていたと思われた趣味の畑仕事も、実は孫たちに、身をもってどのように自分たちが食べているものが育って行くかを是非見てほしいというものであった。そして、収穫の喜びを一緒に味わいたいというのが祖父の考えであった。また、祖父はタバコを以前は吸っていたらしいが、タバコ代にかかるお金を少しでも私たちの喜ぶものに代えようとタバコをやめた。そして、ぽっくん便所であった祖父の家のトイレを、そのようなトイレに慣れていない私たちがかかる前に一人で磨き上げていたそうだった。だから私たちが来るころにはいつもきれいなトイレがそこにあった。また、学ぶことが好きだった祖父は、私たちの大学への資金を少しずつ貯めていたらしいということも、祖父の死後気化された。以上のようなことは、私のほとんど知らないことばかりであった。と同時に、事実を知った時に、そのような祖父の気持ちに気づかなかつた自分がとても腹立たしかつたことを記憶している。祖父との別れをきっかけに、私は見えていない人の心について深く考えることになった。そして、いかに自分が、自分自身では気づかない何かに支えられているかを思い知つたのである。別れは確かにつらく悲しいものである。しかし同時に、私たちに見えない何かを深く考えるというチャンスを与えてくれるのではないだろうか。私たちは残念ながら、別れによって、自分たちが何を失つたかを再点検する。それにより、これまでは気づかなかつた何かを発見することになるだろう。確かに、別れた後に気づくという事は「後の祭り」に等しいかもしれない。しかし、少しでも何かを肝に命じることができたら、私たちは別れによって失いかけた何かを自分の中に見出し、受け継ぐことができるのかもしれない。そして「死」という別れを悲しむだけでなく、何かを誓い、そして別れた故人の「死」を、また、それ以前にあった「生」を生かすことができれば、その誰にでも巡ってくる「別れ」という分岐点を、何かしらの出発点にすることができるのではないだろうか。私はそう願っている。

「私たちのちかい」についてのご親教 浄土真宗本願寺派門主 大谷光淳

私は伝灯奉告法要の初日に「念仏者の生き方」と題して、大智大悲からなる阿弥陀如来のお心をいただいた私たちが、この現実社会でどのように生きていくのかということについて、詳しく述べさせていただきました。このたび「念仏者の生き方」を皆様により親しみ、理解していただきたいという思いから、その肝要を「私たちのちかい」として次の四カ条にまとめました。

私たちのちかい

- 一、自分の殻(から)に閉じこもるとなく
穏(おだ)やかな顔と優しい言葉を大切にします
- 微笑(ほほえ)み語りかける仏さまのように
- 一、むさぼり、いかり、おろかさにならず
しなやかな心と振る舞いを心がけます
- 心安らかな仏さまのように
- 一、自分だけを大事にすることなく
人と喜びや悲しみを分かち合います
- 慈悲(じひ)に満ちみちた仏さまのように
- 一、生かされていることに気づき
日々に精一杯(せいいつぱい)つとめます
人びとの救いに尽くす仏さまのように

この「私たちのちかい」は、特に若い人の宗教離れが盛んに言われております今日、中学生や高校生、大学生をはじめとして、これまで仏教や浄土真宗のみ教えにあまり親しみのなかった方々にも、さまざまな機会でも唱和していただきたいと思っております。そして、先人の方々が大切に受け継いでこられた浄土真宗のみ教えを、これからも広く伝えていくことが後に続く私たちの使命であることを心に刻み、お念仏申す道を歩んでまいりましょう。

正善寺仏教婦人会の会員に入って下さる方を募集中

令和元年度の内容

年会費 千円

5月(総会時) 浄土真宗の基礎のお話

6月 写経に挑戦して、お経の言葉、意味にふれましょう

9月 簡単体操で身体を健康に

10月 バスハイク

2月 季節のお花でフラワーアレンジメント作りましょう



入会お待ちしております

ご 案 内

永 代 経 法 要

	6月8日(土)	6月9日(日)
昼 席	午後1時30分	午後1時30分

と き 令和元年6月8日より6月9日まで

講 師 当 山 住 職 自 勤

どうぞお誘いあわせのうえお参り下さい。

初 参 式

と き 令和元 年 6 月 9 日 (日) 午 前 11 時 開 式

幼児が初めて仏様の前にてお参りをする儀式です

- ◎ 家族お揃いで、**30分前にご集合**ください。
手形の色紙作りをします。終了後、記念撮影を致します。
- ◎ 参加申し込みは、準備の都合により6月5日(水)までに、お寺へお知らせください。お待ちしております。

法 要 準 備 会

1人でもたくさんの方がきていただくと本当に助かります。
どうぞよろしく願いいたします

6月5日(水) 10:00 から 15:00 まで
(少しの時間でもかまいません)

本堂、納骨所もみんなで綺麗に致します。**昼食準備しています。**



第28回 仏教讃歌を歌う集い

主催 北豊教区仏教讃歌を歌う集い

日時 2019年6月1日 開場 13時30分 開演 14時

会場 ムーブ 小倉北区大手町 入場無料 チケットは正善寺にあります当日会場受付も大丈夫です

「♪ 幸せだから歌うのではない 歌うから幸せになるの ♪」

正善寺住職もオートハープをひいて、出演させて頂きます。 ぜひ聞きに来られてね

行事のご案内【如来大悲の恩徳は 身を粉にしても報ずべし】

令和元年度小倉組

小倉組仏教婦人会総会・研修会

6月20日(木) 13:00より15:30まで

会場 大手町 永照寺 本堂

講師 松月英淳師

令和元年 夏のつどい

と き 7月27日(土)16:00~18:00

と ころ 神岳保育園 園庭

参加対象 自 由

イベント 食品、手作りバザー各種

ゲーム大会 園児の盆踊り

園児の祇園太鼓披露

神岳保育園・父母の会主催

盂蘭盆会(盆会) (うらぼんえ)

8月13・14・15日はお盆です。正しくは「盂蘭盆会」といいます。どうぞ自由にお参り下さい。納骨所利用の方はぜひおいで下さい。なお、お盆の門徒様宅お参りは**8月初めより実施**しています。都合のある方、時間に制限のある方は、早めにお寺に申し込み連絡下さい。早めの期間であれば時間通りにお伺いができます。

次回の法要のご案内

秋季彼岸法要

■令和元年9月20日(木) (昼席) ・ 21日(金) (昼席)

【講師】 築上郡 専廣寺 本願寺派布教使 加来諭師

準備会のお知らせ 9月17日(火)10:00より15:00まで 昼食準備します。

編集後記

新緑がとても美しい季節です。お天気の日があって、雨の日があって、曇りの日があってどの日も大切な日、雨が洗ってくれた後の新緑は光っています。

先日私は私にとって贅沢な時間を頂きました。三日間、他のお寺様で勤まっている永代経法要にお参りをさせて頂き、ご講師の先生の仏様のお話を聴かせて頂きました。自坊での法要は裏方の支度が多く、なかなかお話を頂くことが出来ないのも、今回は三日間お参りの方々の中に座らせて頂いて仏様のお話をいただくことが出来ました。

仏教は今まさに聴かせて頂くことばかり、生かされている私が何をするのか、どう生きていくのか、生き方は様々ですが、私の心の中にある疑問がくすぶっていた心が、悲しくて降っていた雨が「あーそうなんだ」ときづかせて下さる尊いご縁となるのです。

そして、仏教は眼に見えるものでもなく、形あるものでもなく、この手の中にもてるものでもなく、お金になるものでもありませんが、人として生まれた私が何をしたら良いのか、私のそして、大切な周りの人たちの小さな心の風景にきづかせてもらえることをまさにお示しくくださるものです。そして先に行かれた大切な方々に「今、ここで遇える世界」が開かれていくのです。「まだまだ、お寺に行って、仏教聞くんじゃないし」とか言われなくて、どうぞ今の私を包み込んでいて下さる尊いご縁、永代経法要に、お参りください。心からお待ちいたしております。夏を待たずに高温が続いております。どうぞ、お身体大切にお過ごし下さい。

合 掌